

ライトをあてて1枚ずつ肌荒れがないかチェック

切削音のわずかな変化から厚みムラなどを見分けちゃう。

何十年もこの特場機械とは子供より長いつきあい

切削

材にあわせて数十種類の刃を付け替え板を切削する。

スライド式や回転式等がある

刃の角度、刃こぼれなどを常に確認します。

刃に爪をあてて切れ味を見る

その光沢は木の細胞一つひとつから放たれたものです。

こころした職人技のりじよで生み出されたツキ板



乾燥

状態を確認しながら乾燥時間や湿度を微調整する

貼付

基材に並べて貼付していく。息を合わせてのスピード勝負

接着剤のわずかな水分でツキ板は伸縮隙間を作らないのは熟練の技

検品&補修



髪の毛一本の隙間も見逃さず木を貼って補修する



自然が作り上げた唯一無二のデザイン「木目」を身近にしてくれるツキ板技術

せひ生活に取り入れて木の魅力を感して下さい!

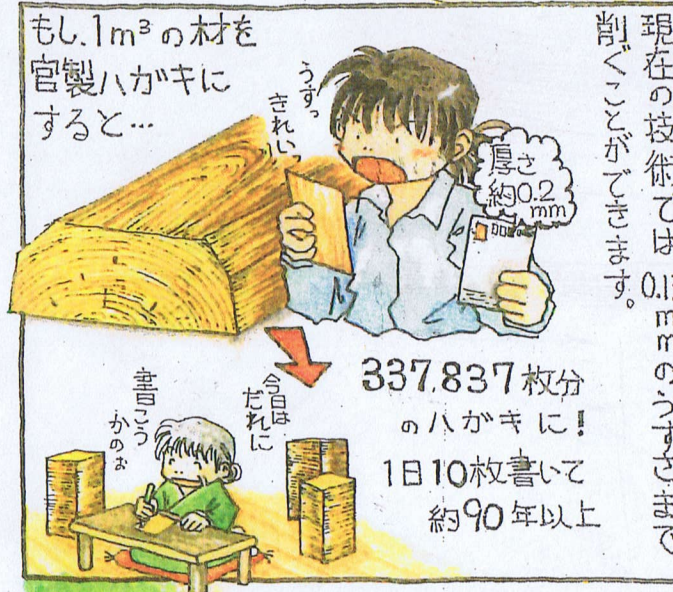
おん

作:平田美紗子



この美しさを無駄なく魅せきる技術が「ツキ板」です。

木目—それは長い年月をかけ環境の変化に耐え生長した木が作り出した美術品。



もし1㎡の材を官製ハガキにすると...

厚さ約0.2mm

337,837枚分のハガキに! 1日10枚書いて約90年以上

現在の技術では0.13mmの厚さまで削ぐことができます。



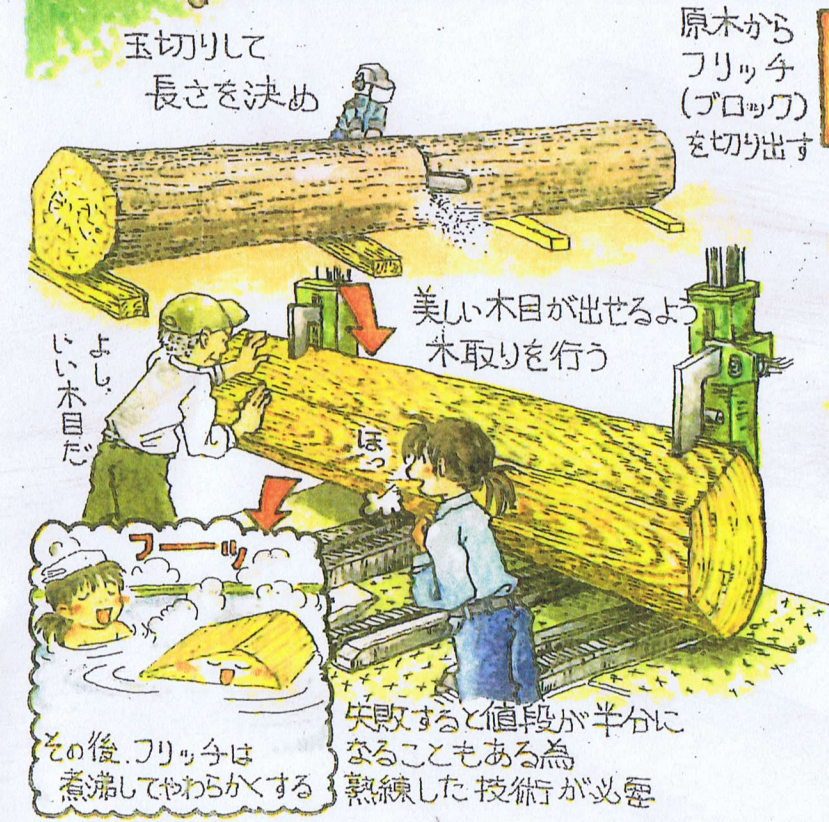
様々な基材に貼り製品を作る

鉋で突いて削り出した板

古くは古代エジプト時代に小物や家具に使用 日本では奈良時代に発達



美しい。正倉院の 木目紫檀双六局



玉切りして長さを決め

原木からフリック(ブロック)を切り出す

美しい木目が出せるよう木取りを行う

その後、フリックは煮沸してやわらかくする 失敗すると値段が半分になることもある為 熟練した技術が必要



世界・国内各地を飛び回り原木を探す 樹種や産地の特徴。外見のみで美しい木目の原木を見極める

ツキ板の製造を支えるのはいくつもの職人技。